

令和4年度入学生用 保育学科 カリキュラムマップ

履修ルールは、教育課程表のページで必ず確認すること。開設学期は変更されることがある。

保育学科 学位授与の方針にかかる学習目標

- 1 建学の精神が掲げる道徳理念を踏まえた社会人たるに相応しい倫理観、責任感と自己管理能力を備えている。
 - 2 現代社会にかかるさまざまな事象をとらえる国際的かつ複眼的な視野、そして他者と円滑にコミュニケーションをはかる能力を兼ね備えている。
 - 3 保育者としての強い使命感と教育的愛情をもち、行動で示すことができる。

		1年次		2年次		備考	
		前期	後期	前期	後期		
【基礎科目】 教養と健康増進のための知識と技術を身につける		ホスピタリティ論／心理学／倫理学／現代の教育／国際文化論（異文化理解）／地域文化論／情報メディア論／自然と生活／現代社会のしくみと生活／情報基礎／統計学		法学（日本国憲法を含む）／体育講義／体育実技			
		英語Ⅰ／コリア語Ⅰ／中国語Ⅰ		英語Ⅱ／コリア語Ⅱ／中国語Ⅱ			
【専門教育科目】 保育者としての専門的な資質能力を身につける	「基礎演習科目」：建学の精神と、社会人としてのマナーや言葉の使い方など、保育者としての基礎的な知識・技能・態度を身につける		キャリアデザインⅠ 社会人のマナー演習		キャリアデザインⅡ 国語表現法Ⅰ		
	「本質・目的に関する科目」：保育・幼児教育を何のためにするのか、そしてどのような考え方で行うものなのか、保育者としての視点を養う		保育原理 社会福祉 社会的養護Ⅰ		教育原理（幼） 子ども家庭福祉		
	「対象の理解に関する科目」：保育・幼児教育の対象となる子どもや保護者などを理解するための考え方や方法を身につける		保育と発達の心理学Ⅰ		保育と発達の心理学Ⅱ（子どもの理解と援助） 子ども家庭支援の心理学 子どもの保健 子どもの食と栄養		
	「内容・方法に関する科目」：保育・幼児教育を実践するための内容や方法を身につける		教育課程論 保育内容総論 子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉		保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法		
			保育内容「表現」の指導法a 子どもと表現Ⅰ		表現領域演習Ⅰ		
			子どもと表現Ⅱ		表現領域演習Ⅱ		
			保育内容「表現」の指導法b 子どもと表現Ⅲ		表現領域演習Ⅲ		
					表現領域演習Ⅳ		
			絵本学		文化プログラム		
			子どもと表現Ⅳ		文化プログラム		
「実習・演習科目」：保育者としての現場での実践的指導力を養いつつ、自分の保育者としての適性や保育者になる意思を自ら確認する	保育のピアノ演習Ⅰ		表現技術／図画技術		表現プログラム		
			保育のピアノ演習Ⅱ		保育のピアノ演習Ⅲ		
			保育のピアノ演習Ⅳ		表現プログラム		
			健康科学基礎／発育発達論／ジュニアスポーツ特講／ジュニアスポーツ演習		運動プログラム		
			乳児保育Ⅰ 特別支援教育（幼）／障害児保育		乳児保育Ⅱ		
			社会的養護Ⅱ		乳児教育方法		
			乳児保育Ⅲ		乳児保育Ⅳ		
			社会的養護Ⅲ		乳児保育Ⅴ		
			社会的養護Ⅳ		乳児保育Ⅵ		
			社会的養護Ⅴ		乳児保育Ⅶ		
【自由科目】学生の学修成果の向上を更に補う		保育実習指導Ⅰ（保育所）（1年後期）⇒保育実習Ⅰ（保育所）（1年次2月）		保育実習指導Ⅱ（保育所）（2年前期）⇒保育実習Ⅱ（保育所）（2年次8～9月）			
		【AB組】保育実習指導Ⅰ（施設）（1年後期）⇒保育実習Ⅰ（施設）（1年次2月）		【CD組】保育実習指導Ⅰ（施設）（2年前期）⇒保育実習Ⅰ（施設）（2年次8～9月）			
		幼稚園教育実習指導（1年後期）⇒幼稚園教育実習（観察）（1年次1～1月）		保育実習指導Ⅲ（施設）（2年前期）⇒保育実習Ⅲ（施設）（2年次8～9月）			
		幼稚園教育実習（2年前期）⇒幼稚園教育実習（責任）（2年次6月）		幼稚園教育実習（責任）（2年次6月）			
		専門ゼミⅠ		専門ゼミⅡ			
		保育・教職実践演習（幼）		在宅保育論			